

光葉同窓会メールマガジン

＜2025年6月号＞

216号 2025年6月2日配信



学内の樹々がますます深い緑色に包まれて、季節の変化を感じています。同時に、少し肌寒さを覚える日もあり、そろそろ梅雨入りの発表も聞こえてくる頃となりました。降る雨音に耳を澄ませながら、ゆったりとした時間の流れを味わえるのも、この時候ならではの楽しみではないかと思われます。時には、あたたかいお茶やコーヒーを片手に、好きな本を読んだり、音楽を聴いたり、昔の写真を眺めたりしながら、肩の力を抜いて、心を休めるひと時を楽しみたいものです。

この6月は、幹事会の開催や各地区の支部会も予定されています。同窓会の皆さまとの繋がりが一層深まることを期待しています。今月もどうぞお健やかに過ごしてください。（常任委員 高味み鈴）

■同窓会だより

◇全国支部長会を開催

5月17日(土) 第1部 13:30～15:30 第2部 16:10～18:00

昭和女子大学学園本部館中会議室で、支部長51名が参加しました。

第1部の支部長会は、山本晶子副学長にご挨拶をいただき、松田忍アドミッション部長、伊藤純キャリア支援部長から大学入試状況、就職動向の説明を受けました。新支部長の紹介と挨拶に引き続き、支部長研修では、2名の学生アンバサダーの方に学生生活をスライドでご説明いただき、支部間での話し合い後、支部の運営についてアンケートにまとめました。

第2部の懇親会では、坂東眞理子総長から学生の活躍についてお話があり、大きな拍手が湧きました。親睦を深め、楽しい時間になりました。



◇第52回光葉同窓会総会を開催

5月18日(日) 11:00～14:30

昭和女子大学学園本部館大会議室に来賓・会長賞学生を含み、137名が参加しました。

第1部の総会では、坂東眞理子総長にご挨拶をいただき、第23期選挙管理委員会委員長が選挙結果を報告しました。石川京子第9代会長挨拶後、議事が全て承認されました。支部設立50年の山形県支部表彰、会長賞（親子3代賞）の奨学金授与を行いました。

第2部の懇親会では、来賓、恩師の紹介後、山崎日出男理事長、金尾朗学長にご挨拶をいただきました。恩師代表として瑞宝中綬章を受章された友田博通先生のご挨拶後、お祝いの花束を贈呈しました。昼食と歓談、ロビーではプレリウドや事務局でグッズの販売が行われ、お買い物も楽しめる時間になりました。同窓会委員中心にお楽しみ抽選会が行われ、会場に歓声や笑顔の輪が広がり、最後に「光葉によせて」を斉唱して閉会しました。



◇支部会開催予定

- ・6月1日(日) 兵庫県支部／沖縄県支部
- ・6月8日(日) 秋田県支部／栃木県支部／千葉県支部／群馬県支部
- ・6月15日(日) 岩手県支部
- ・6月19日(木) 静岡県支部
- ・6月28日(土) 大分県支部
- ・6月29日(日) 宮城県支部／福井県支部
- ・7月6日(日) 香川県支部／和歌山県支部
- ・7月13日(日) 大阪府支部

◇2025年度幹事会のご案内 6月21日(土) 13:00～15:00 学園本部館3階大会議室

学年幹事の皆様に、はがきでお知らせしています。返信の締め切りは6月6日(金)です。
ぜひご出席ください。

◇「ちょうどいい非日常ソウル3日間」(光葉会との共催)が決定



渡航日程: 11月18日(火)～11月20日(木)
募集人数: 40名様(最少催行人数: 20名様)
ツアー代金: 180,000円

*募集期間: 6月23日(月)～7月13日(日)

先着順

*京王観光にQRコードで

お申込みください。



◇同窓生で登山家 田部井淳子さんをモデルにした映画が完成

吉永小百合主演の映画「てっぺんの向こうにあなたがいる」が10月31日公開予定です。

■広げよう光の葉

株式会社みずほポシェット代表取締役

小原 綾子さん 1999年 英米文学科卒



「今につながる学びの日々」

私は、中学から大学まで昭和に通い、新聞記者、みずほ銀行を経て、2024年4月からみずほフィナンシャルグループ(以下、みずほFG)の子会社、株式会社みずほポシェット代表取締役を務めています。私たちの取り組みがみずほFG社員発ビジネスピッチコンテントにトップ通過し、みずほ行員による第1号起業案件のスタートアップ社長になるとは思いませんでした。今回こうした貴重な機会をいただくことになりましたので、現在挑戦していることをご紹介したいと思います。

みずほポシェットでは、小学生とその親向けに4月から「お金のおけいこアプリ PochettePlus(ポシェットプラス)」の提供を始めました。親子一緒に楽しくお金との付き合いを学べるサービスです。

スタートアップ事業は、想像力、実行力、スピード感ある判断、幅広い知識、味方を増やす巻き込み力、根気強さなど、様々な要素が求められますが、その土台を作るのが学生時代だと思います。特に思い出に残った二つをご紹介します。

私の学生時代は就職の超氷河期でした。今のような売り手市場ではなく、就職事情は大変厳しい時代でした。私自身も希望の新聞社に新卒では決まらず、就職浪人を経て、毎日新聞社に記者として入社できました。卒業まで毎日、大学の図書館に朝から夜まで通い詰めて勉強をしていました。たまたに恩師と図書館でばったりお会いし励まして下さったのが、苦しい時期を乗り越える心の支えになりました。この時に苦労した経験が、その後の人生の大変な局面でも、なんとか踏ん張ろうというあきらめない気持ちにつながっていったと思います。

また私は英米文学科に所属していましたが、特にボストン留学は貴重な経験でした。ボストンでの半年は、いま思えば異文化を理解する恵まれた時間だったと思います。ボストンは歴史の街ですので、フリーダムトレイルなど巡りながら米国建国スピリットを現地で学びました。あの時の日々は異文化を理解するきっかけとなり、銀行でアジアビジネスに長く携わっていたのですが、米国と比較してアジアを見るなど欠くことができない経験だったと思います。一つ一つの経験が今の自分につながっており、無駄なことは何ひとつとしてなかったなと思います。

経営者になってからはさらに学びの日々ですが、働くということは挑戦の連続であり、これからも結果を出していくことで世の中をよくしていきたいと考えています。【End】